



千葉県環境生活部と生協連役員との懇談会を開催しました！

11月16日（木）、千葉県教育会館会議室において『千葉県環境生活部と生協連役員との懇談会』を開催しました。

参加された方は以下になります。

千葉県環境生活部より渡辺くらし安全推進課課長、熊本消費者安全推進室室長、牲川主事、千葉県生協連より首藤会長理事、新村副会長理事、尼崎専務理事、高橋理事（パルシステム千葉）、重田理事（コープみらい）、埴理事（生活クラブ）、鶴岡理事（千葉県庁生協）、筒井理事（千葉県学校生協）、石原理事（千葉大生協）、大見理事（ちば住宅コープ）、杉浦理事（千葉労済）、有吉監事（東邦大消費生協）、佐久間、依光、竹内（千葉県生協連事務局）の計18名でした。

尼崎専務理事の司会により懇談会が始まり、環境生活部から参加された渡辺課長、熊本室長、牲川主事のご紹介がありました。はじめに首藤会長理事、渡辺課長のご挨拶があり、続いて環境生活部くらし安全推進課より、千葉県ですすめている安全運転の取り組み、消費者安全の取り組み、第4次千葉県消費生活基本計画の概要、多重債務対策について報告がありました。



全体の様子

千葉県生協連からは「2023年度上期活動について」、各生協からは自生協の紹介と「2023年度上期の活動」について、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ、千葉県庁生協、千葉県学校生協、千葉大学生協、東邦大学消費生協、ちば住宅コープ、の順に報告があり、千葉商科大学生協、千葉県高齢者生協は資料の紹介がありました。

懇談の中で「買って応援！まごころセットの商品設定について工夫していることは？」「地域の見守り活動の中で具体的な事例は？」「生協が社会情勢の変化に対して敏感に対応していることが分かった」「第4次消費生活基本計画を策定しているが、生協の取り組みと深く関わっている部分が多いので、今後もぜひ協力関係を継続していきたい」等の質問や意見がありました。

最後に新村副会長から「今後の生協と行政との連携を深めていくうえで貴重な時間となったので今後も継続していきたい。」と閉会の挨拶がありました。

以上